



SOJITZ IR DAY 2016

石炭・金属本部

2017年1月13日
双日株式会社
石炭・金属本部長
尾藤 雅彰



目次

◆ 本部概要

- ・組織・営業部概要
- ・主な商品別トレードMAP
- ・主要事業・上流権益MAP
- ・本部方針と業績推移

◆ 事業環境

- ・当本部を取り巻く事業環境
- ・市況

◆ 事業環境への打ち手

- ・当本部を取り巻く事業環境への打ち手
- ・トレード強化
- ・既存資産の強化・資産ポートフォリオの再構築
- ・新規事業エリアの創出
- ・更なる成長に向けて

将来情報に関するご注意

資料に記載されている業績見通しは、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、業績を確約するものではありません。実際の業績等は、内外主要市場の経済状況や為替相場の変動など様々な要因により大きく異なる可能性があります。重要な変更事象等が発生した場合は、適時開示等にてお知らせします。



本部概要





組織・営業部概要

石炭・金属本部

石炭・鉄鉱石部



□ 石炭／鉄鉱石の日本、中国、アジア地域向けトレード

- ロシア炭の日本向けシェアNo.1
- 高品位鉄鉱石の日本向け高シェア

石炭・金属開発部



□ 海外の炭鉱経営、海外石炭権益への投資

- 商社唯一の炭鉱オペレーション機能
- インドネシア炭権益持分数量No.1

鉱産部



□ 鉄鋼副原料・副資材、各種鉱産・耐火物原料トレード

- 各種鉱物の総代理店権を有し、蛍石・蛭石は商社トップ
- ベントナイト・炭素製品等、上流原料から下流製品までのサプライチェーンを構築

合金鉄・非鉄貴金属部



□ 海外レアメタル・非鉄権益への投資、及び物流ビジネス

- 日本向けのほぼ全量を取扱うニオブ、高いシェアを持つフェロクロム輸入取引
- 豪州アルミナ精製事業への参画や、日本の銅メーカーとのカナダ銅事業

メタルワン事業室



□ メタルワンを通じた鉄鋼製品流通・加工事業への取組、独自ビジネス

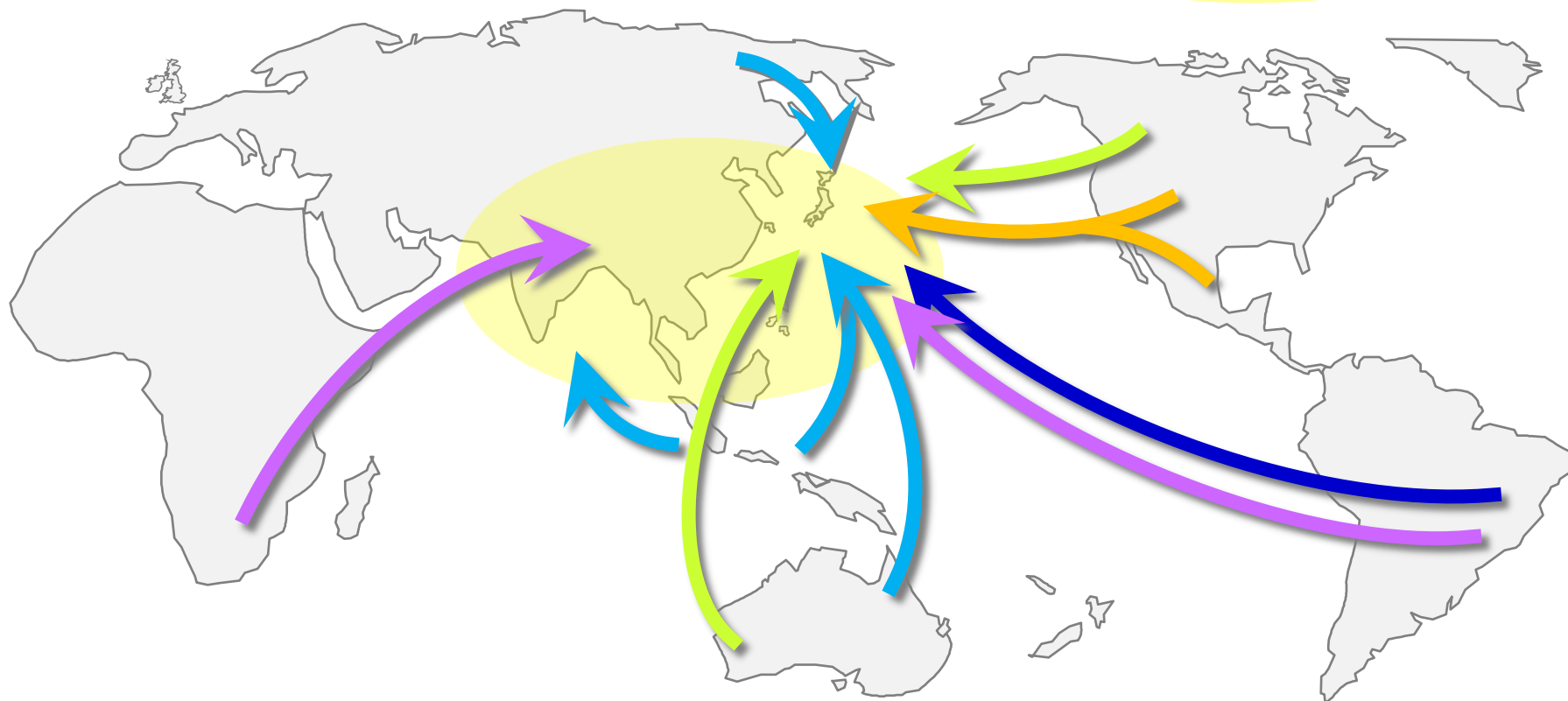
- 国内最大の鉄鋼商社であるメタルワンとともに、鉄鋼周辺需要を捕捉



主な商品別トレードMAP

- 石炭 → 鉄鉱石
- レアメタル（クロム・ニッケル・ニオブ・バナジウム等）
- ベースメタル（銅・アルミ等） → 鉱産品（蛍石・蛭石等）

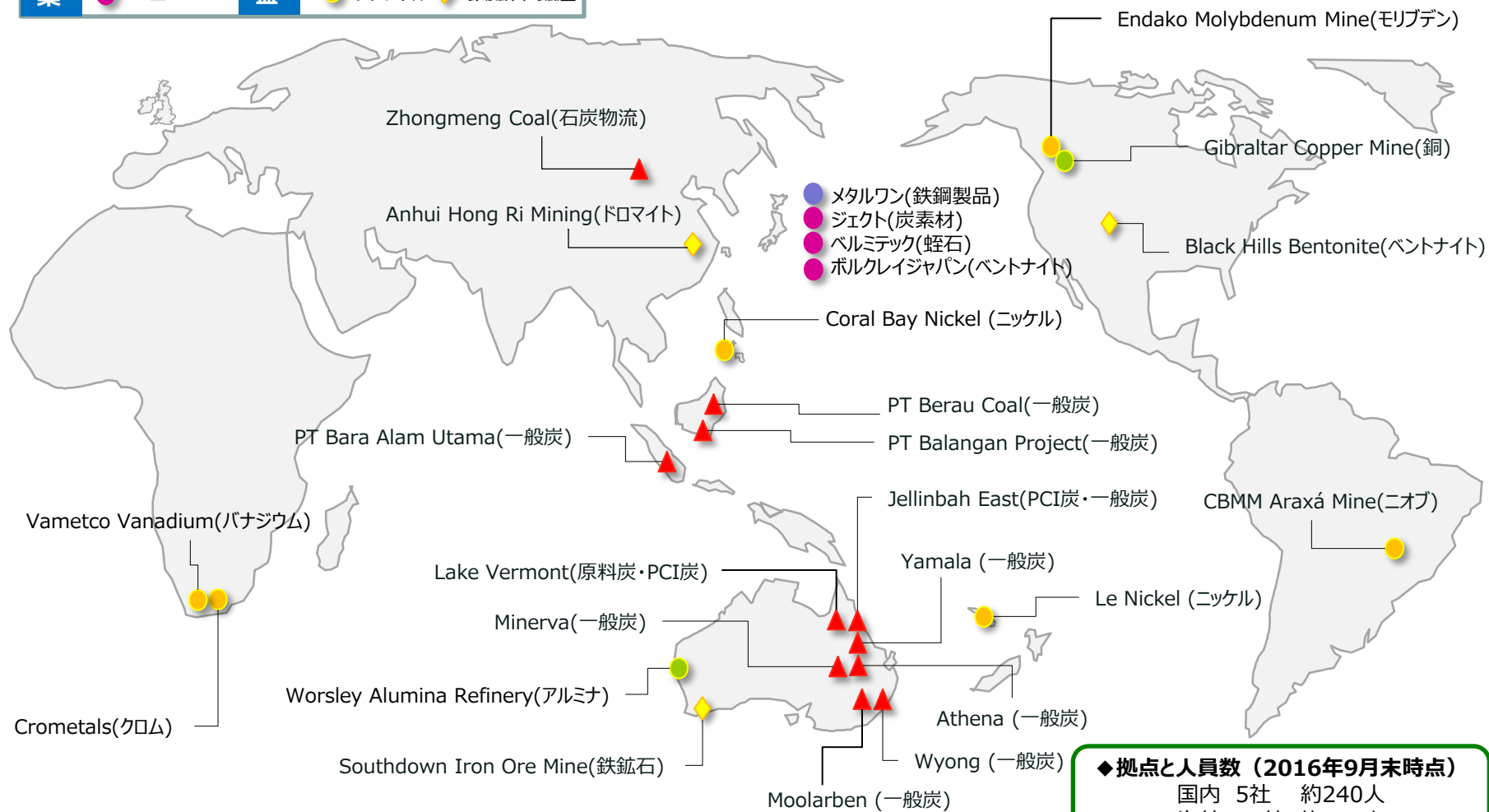
日本を中心に
アジア地域へ
幅広く供給





主要事業・上流権益MAP

事業	権益
● 鉄鋼製品	▲ 石炭
● 鈳産	● 非鉄・金属
	● レアメタル
	◆ 鉄鈳石・鈳産



◆ 拠点と人員数 (2016年9月末時点)

国内 5社 約240人

海外 38社 約280人



本部方針と業績推移

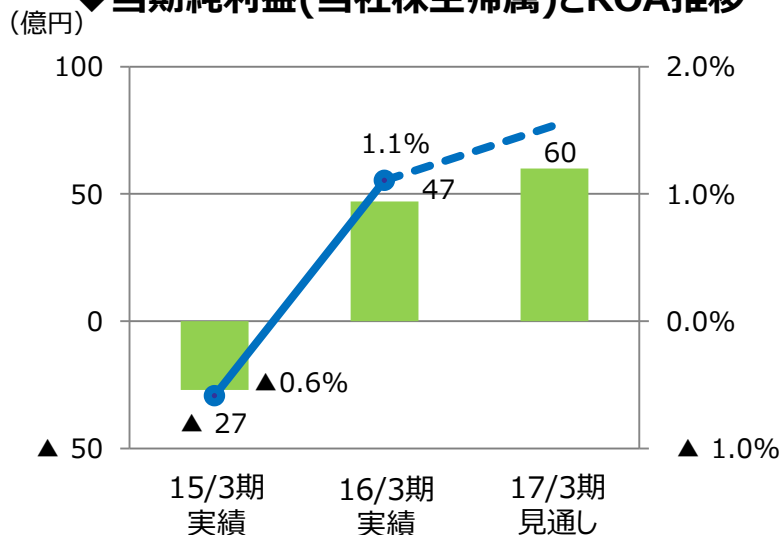
本部方針

トレーディング機能と優良権益確保を通じて、エネルギー・金属資源の供給責任を果たすとともに、市況に左右されない安定した収益基盤を確立

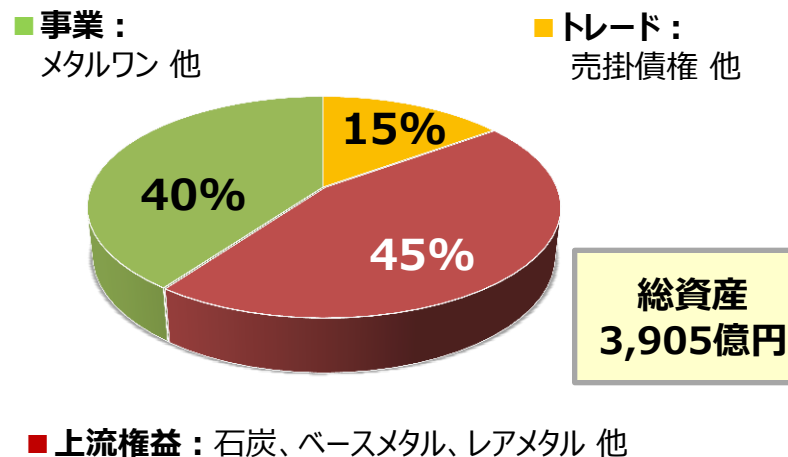
- 成長市場をベースにしたトレードビジネス強化
- 実需・機能に基いた上流資産の保有
- サプライチェーンの見直し、新規エリアの開拓

業績推移・資産

◆ 当期純利益(当社株主帰属)とROA推移



◆ 事業形態別資産 (16/3末、総資産ベース)





事業環境





当本部を取り巻く事業環境

市況のボラティリティ

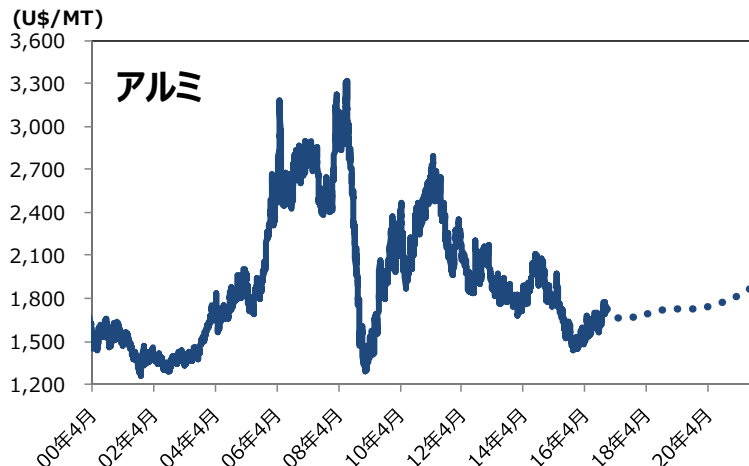
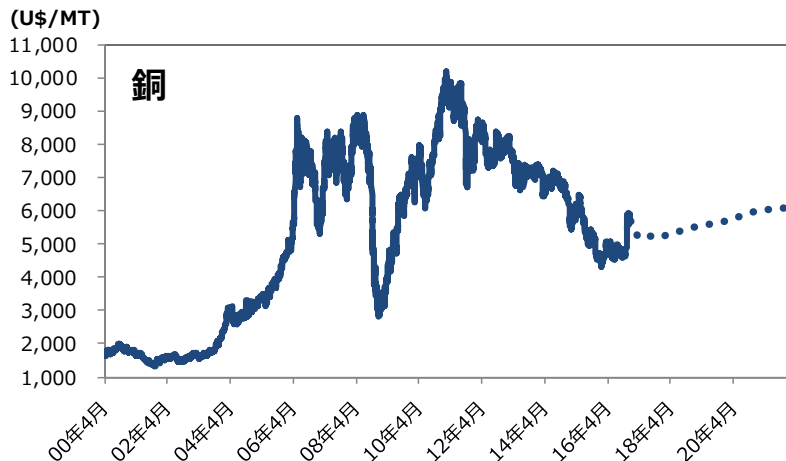
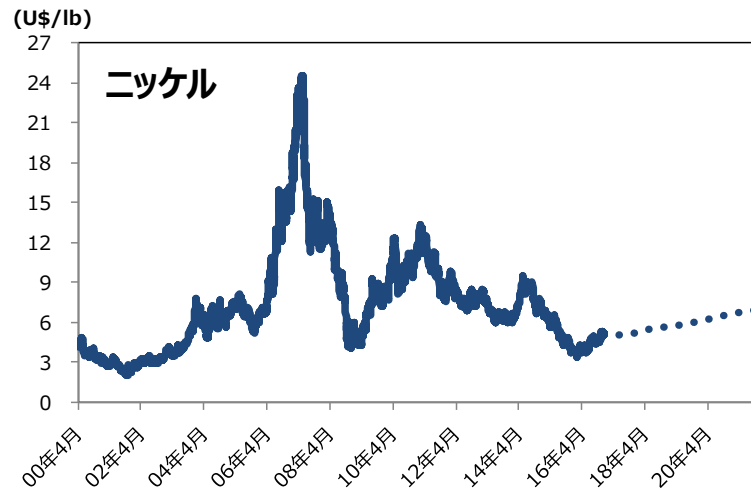
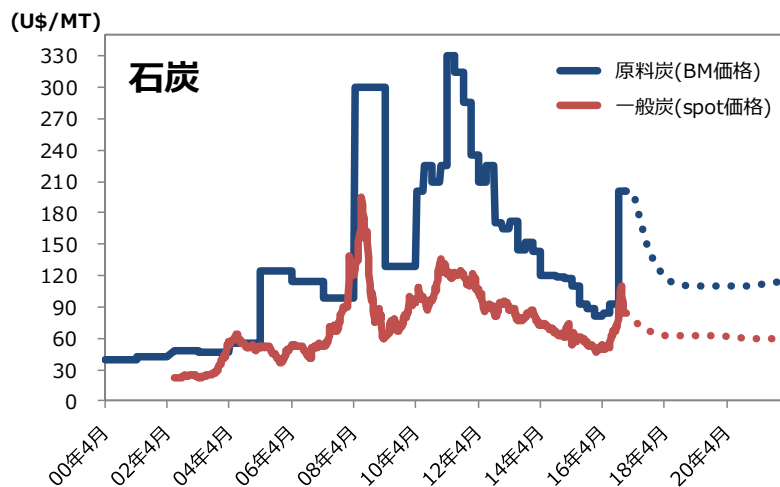
**一時的に減速するも、新興国需要
は堅調(日本は低成長)**

環境規制強化・新素材の動き



市況

石炭価格をはじめ、足元の資源価格急騰は一過性と予測



(出典) 点線 : Consensus Economics Inc.(Nov 14, 2016)



事業環境への打ち手





当本部を取り巻く事業環境への打ち手

事業環境

市況の
ボラティリティ

一時的に減速するも、
新興国需要は堅調
(日本は低成長)

環境規制強化・
新素材の動き

3つの打ち手

1

トレード強化

2

既存資産の強化・
資産ポートフォリオの再構築

3

新規事業エリアの創出



打ち手①トレード強化

方針 強みのある商品群の更なる強化と、アジア市場を中心とした新興国向けの三国間取引を拡大

強みのある商品

今後の方針

石炭



◆対日シェアNo.1のロシア炭

石炭取扱い量をトップクラスへ
(23百万トン→40百万トン)

鉄鉱石



◆南米の高品位鉄鉱石

高品位鉱のメニュー・販路拡大で
業界トップクラスへ

鉱産品



◆フッ素原料(蛍石)
◆チタン原料(イルメナイト他)
◆各種セラミックス原料(耐火物他)

鉱産業界トップシェアを礎に、
新ビジネスを優先的に獲得

レアメタル



◆ニオブ
◆クロム
◆ニッケル

豊富な取扱い製品・高いシェアで、
レアメタル業界でのトップシェアを維持

ベース
メタル



◆アルミナ

新興国需要拡大に対応したアルミナ・
銅取扱強化と、中下流事業への展開



打ち手②

既存資産の強化・資産ポートフォリオの再構築

方針

既存プロジェクトのコスト削減を進め、低市況下でも収益を生む体制を構築するとともに石炭ポートフォリオを見直し、需要・機能に紐付く上流資産を形成

市況耐性の強化（コスト削減の追求）

～ミネルバ炭鉱経営で培ったノウハウの活用～

- ✓ ミネルバ周辺鉱区開発、炭鉱延命・コスト削減により競争力を高め、市況耐性を強化
- ✓ インドネシアの炭鉱、非鉄（銅・アルミ）事業投資にノウハウを共有し、管理体制を強化



豪州 ミネルバ炭鉱



豪州 ワースレー
アルミナ精製事業

資産ポートフォリオの改善

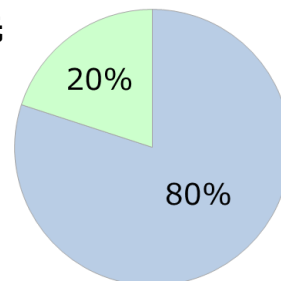
～環境規制対応と、市況耐性の強化～

- ✓ 非効率な資産や戦略的意義を失った事業からの早期撤退
- ✓ 環境負荷軽減の観点から、一般炭偏重から原料炭とのバランスのとれた炭種ポートフォリオへ

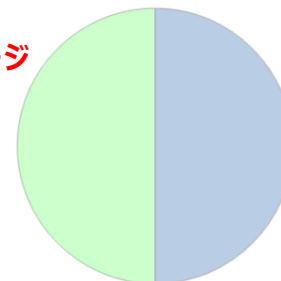
炭種別比率

■ 一般炭 ■ 原料炭・PCI炭

足元



将来
イメージ





打ち手③新規事業エリアの創出

方針

事業環境の変化（法規制変更・環境対応等）を商機と捉え、従来の事業領域にとらわれない、中下流領域での新たな事業を創出し、安定収益源の構築を目指す

リサイクル・回収事業

～資源循環型社会に向けて～

- ✓ 電子基板スクラップから、銅・貴金属、レアメタルを回収する資源循環ビジネスモデルを構築
- ✓ 鉱山廃棄物から有価物を回収する事業を検討



電子廃基板

土壌改良剤供給

～環境規制の変更を機会と捉えて～

- ✓ 重金属含有土壌の改良に用いる土壌改良材の原料を供給
- ✓ メーカーとともに、国内のみならずアジア市場にも拡販



土壌改良材

リチウムイオン電池用炭素材供給 ～電気自動車向け需要の獲得～

- ✓ 需要拡大が見込まれる電気自動車用リチウムイオン電池部材向けに、炭素材原料を供給



黒鉛
(炭素材原料の一例)



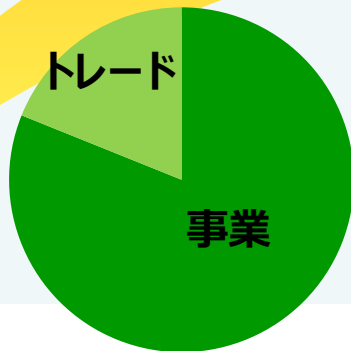
更なる成長に向けて

- トレード強化
- 既存資産の強化・資産ポートフォリオの再構築
- 新規事業エリアの創出

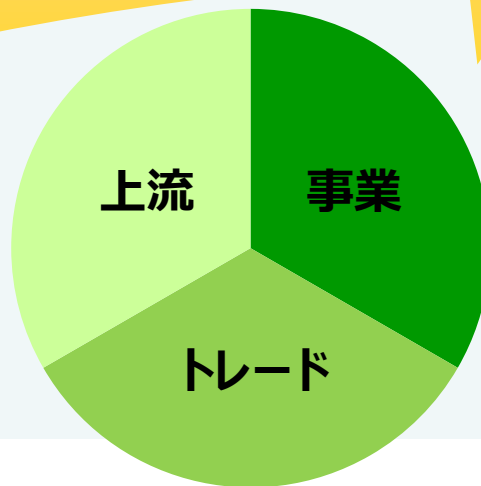
収益ドライバーとして
全社を牽引する存在へ

当期純利益ポートフォリオ
(イメージ)

● 16/3期



● 将来



※16/3期上流權益事業は赤字



sojitz

New way, New value